

神仏習合の里 宇佐神宮と国東半島を世界遺産に!

宇佐神宮周辺散策MAP

曹洞宗。禅堂の薬師如来坐像（国指定重要文化財）は、明治時代の神仏分離により宇佐宮の弥勒寺の金堂から移されました。他にも日光・月光菩薩等が伝えられています。



浄土真宗本願寺派。昭和の大造営により宇佐宮境内から現在地に移転。本尊の阿弥陀如来立像は宇佐宮境内の大武堂（大宰府の次官が寄進、現・絵馬堂付近）より、丈六の弥勒大仏は弥勒寺の講堂から移されました。



▲至北九州
▲中津方面

●化粧井戸

3つの井戸が並び、中央に石碑が置かれています。単人の乱が平定した後、単人の慰霊のための放生会に参加する八幡古表神社（福岡県吉富町子丸）と古表神社（大分県中津市伊藤田）の傀儡子をこの井戸で洗ったと伝えられています。

●凶首塚古墳

単人征伐をされた八幡大神が、百個の単人の首を持ち帰って供養されたと伝えられる場所です。昭和46年には、県の史跡に指定されています。

●百体神社

大隅・日向の単人の霊をお祀りしています。養老4年（720年）に八幡大神が単人の乱を平定した後、その単人の霊を鎮めるための神社を創始しました。

小山田記念公園

おのがひぎのみこと ほか

大神比義命の祠 大神比義命の頌徳碑

大神比義命は、「大神神社史料」によれば、大和國の一之宮、三輪明神を祀る大神神社の社家に生まれ、この宇佐の地において八幡大神を初めて顕現された人物です。欽明天皇29年（西暦568年）に勅命を受け、宇佐に派遣され、五穀を断ち3年間の精進の末、欽明天皇32年（西暦571年）笹の葉に乗った3歳の童子として顕われた後、黄金の鷹になり、宇佐市内を流れる駅館川の東岸の松の上にとどまったといわれています。そしてそこに八幡大神を辛島勝乙目と共に鷹居社をつくり祭祀しました。その後、八幡大神を小山田社に移し祀り、神亀2年（725年）小椋山（現在の本殿地）に一之御殿を建立し八幡大神が鎮座したと伝えられています。

八幡大神は、連綿と日本国民の信仰の根本を形成する神仏習合の神として祀り崇められ、いまや宇佐神宮は、伊勢神宮に次ぐ第二の宗廟といわれています。八幡大神の平和への篤い願いが全世界に広まり、多くの人々に幸せが訪れるよう祈念し、ここにその業績を讃えて頌徳されています。



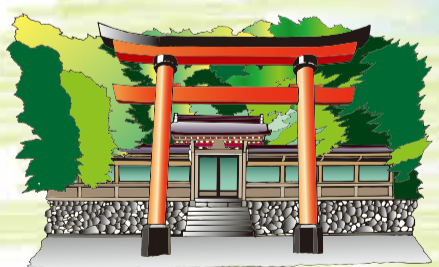
呉橋

宇佐神宮境内にある社殿同様の檜皮葺きで、唐破風の屋根に覆われた豪華な橋であり、県の有形文化財に指定されています。かつては弥勒寺の仁王門へとつづく橋でした。10年に一度の勅使祭のときだけ扉が開かれます。



宇佐神宮

全国八幡社の総本宮で、神輿と神仏習合の発祥地として有名です。単人の乱平定ののち、慰霊のためにはじまった放生会や境内に弥勒寺を建立したことなどがそれを良く表しています。また、八幡神の化身ともいわれた仁聞菩薩は、国東半島に多くの寺院を建て六郷満山の仏教文化を広げました。スピリチュアルスポット（聖地）をのんびり散策してみましょう。



護皇神社

御祭神：和氣清麻呂

道鏡事件の際、八幡大神様の神託を受けて国の危機を救った和氣清麻呂をお祀りしています。

大尾神社

御祭神：八幡大神



1 川沿いをのんびり散策コース 約30分 約1.5km

宇佐市観光協会 → 極楽寺 → 大善寺
呉橋 → 小山田記念公園 → 宇佐神宮仲見世

川沿いを吹き抜ける「風」を感じながらベンチでひとやすみ。のんびりと過ぎる時間もぜひたくに味わえる散策コース。



2 森林浴でリフレッシュコース 約1時間 約3.0km

宇佐市観光協会 → 白橋 → 護皇神社
大尾神社 → 白橋 → 呉橋

ひっそりと静かな森の中に佇む神社へ向かう道は、日常の喧騒を忘れさせてくれます。光が差し込む森でパワーもスピリットも充電できるちょっと長めの散策コース。

3 神仏習合の歴史を感じるコース 約30分 約1.5km

宇佐市観光協会 → 大楽寺 → 円通寺
歴史が「紡いできた」宇佐神宮との深い関わりを感じることができる短い散策コース。



♿ 車イスの方でも楽しめるコースです。

観光の
お問い合わせ

◆(一社)宇佐市観光協会 TEL 0978-37-0202
◆宇佐市観光まちづくり課 TEL 0978-32-1111
◆宇佐神宮 TEL 0978-37-0001